

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
下古沢・上古沢周辺地区

平成28年5月

神奈川県厚木市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	みどりのまつり来訪者	人	45,000	50,000	43,000	確定			あり	48,000	H24年4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	目標よりも低い水準ではあるが、道路整備事業により、会場へのアクセス性等が向上したことで、減少傾向であった来訪者数が増加へ転じたことは評価できる。なお、来訪者数は当日の天候に大きく左右される傾向にある。評価値の平成22年度は2日間とも晴れであったのに対し、確定値の平成24年度は曇り・雨であったが、平成22年度よりも来訪者数は増加した。
						見込み								
指標2	上古沢方面のバス路線本数	本/日	23	30	23	確定			あり	21	H24年4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	道路整備事業による道路アクセスの向上と新設斎場の整備により、バス利用の需要増を想定していたが、バス事業者との調整が必要のため、現状では本数は増えていない。
						見込み								
指標3	生活環境に対する意識	%	15	20	21	確定			あり	22	H25年1月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	道路整備や河川改修、地域交流センターの整備により、生活環境が良くなったと感じる人の割合が年々増えており、事業の効果が表れていると評価できる。
						見込み								
指標4						確定			あり		H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
						見込み								
指標5						確定			あり		H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1									H 年 月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2									H 年 月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3									H 年 月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために行う方策	施設の適切な維持管理	道路について、歩行者及び車両が安全に通行できるよう、定期的に点検を実施し、必要に応じて修繕を行う。 (仮称)梅見里緑地の維持管理について、地域住民の参加を検討する。 「厚木市立愛老老人憩の家」や「(仮称)下古沢地域交流センター」について、いつまでもきれいで利用しやすい場を目指し、定期的な清掃を実施するとともに、利用時のマナー等を利用者に働きかける。 給食調理場の適切な維持管理を行う。	・道路の点検・修繕 ・地域住民との協議 ・施設の定期的な清掃 ・給食調理場の点検・修繕	市民協働による美化活動を継続させることにより、更なる地域コミュニティの活性化を図り、安心安全のまちづくりに繋げる。
	準用河川恩曾川の活用	生態系に配慮した整備により自然環境の保全を図った箇所について、環境学習等への活用を検討する。(現在、整備箇所付近の親水公園にて、大学生と小学生と一緒に環境学習を実施している。)	環境学習の実施	環境学習を実施した結果、生物の多様性や川や水辺への親しみを感じる生徒が増えているので、継続的に取り組むことにより、豊かな自然とふれあい、生涯を通じて、安らぎ、憩える快適生活のまちづくりに繋げる。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	事業用地の確保	地権者との円滑な交渉により、事業用地の確保に努め、事業の早期完了を目指す。	・用地取得に係る継続的な交渉	継続的な用地取得の交渉を重ねることにより、事業の早期完了を目指す。
	上古沢緑地の環境整備とPR強化	北側駐車場にトイレや誘導灯を整備するとともに、北側駐車場の利用を促す案内に力をいれ、日本一のつつじの丘を目指すことをコンセプトに、更なる来訪者の増加を目指す。	・北側駐車場の利用促進のPR活動 ・上古沢緑地のPR活動	継続的なイベント開催により、自然環境と触れ合い市民が安らぎ憩える場としての更なる活用を図る。
	更なる地域への学校開放	学校は、災害時の一時避難所となるなど、地域の拠点施設としての役割が大きく、地域への開放が望ましいことから、生徒の安全面に配慮しながら、学校との協力により、地域との交流を図る学校行事の更なる開催を検討する。	・地域交流行事の実施	学校は、災害時の一時避難所となるなど、地域の拠点施設としての役割が大きく、地域への開放が望ましいことから、生徒の安全面に配慮しながら、学校との協力により、地域との交流を図る学校行事の継続的な開催を図る。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項